

TISCON MOVER

ご提案依頼



TISCON MOVERでは今まで

店舗・郵送・電話・FAXといった手段で

引っ越し料金のお見積りを行って来ました

しかし 昨今のコロナ禍の影響で
店舗での見積りをメインにしてきた弊社は
大きな影響を受けています。

業績回復のために、

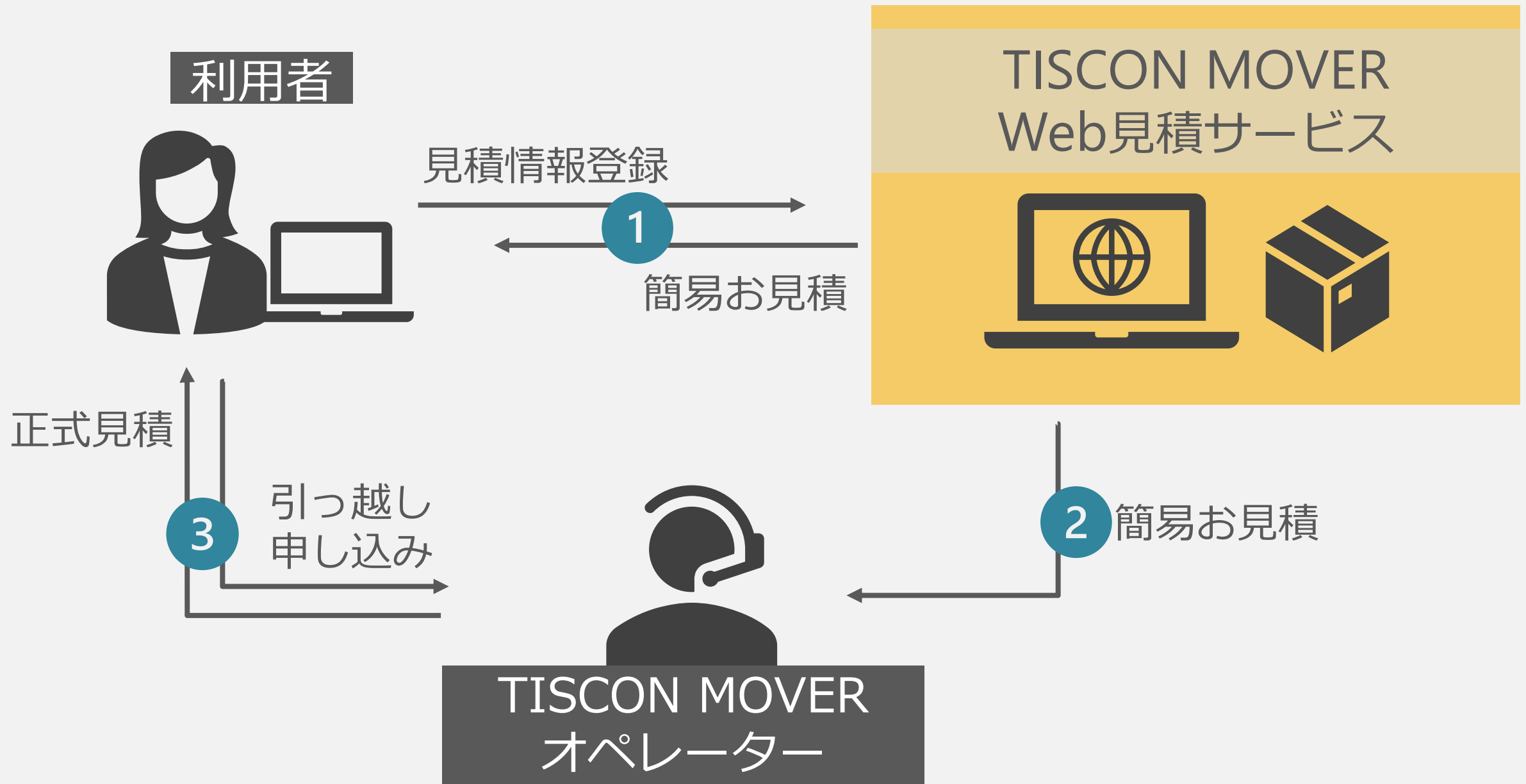
新しい受付方法を設ける必要がありました。

そこで この度TISCON MOVERでも

より多くのお客様にご利用いただくため

Webでの引越し料金見積サービスを開始しました

業務イメージ



社内でHP作成経験がある者を中心に開発を行いました

しかし、至らない部分も多く

お客様から様々な厳しいご意見をいただいています

また 業績回復のためにWebサービスを立ち上げたものの、
サービスとして

今後どう成長していけばいいのか

お客様にどのような価値を提供できるのか

非常に悩んでいます…

当社は小規模な引っ越し業者ですので

本格的なシステムを開発できる社員はいません

開発に携わった社員は頑張ってくれたのですが

これ以上の開発は難しいとのことで…

よりよいサービスにすべく、

皆様にご協力いただけないでしょうか

プロの視点で改修提案してください

ご提案内容を聞かせていただいて

弊社と一体となって

サービスを成長させていけると感じる

1社と契約をさせていただきます

現行アプリの課題

弊社で把握している課題を4点ご紹介します。
ただし、これらは要望ではありませんので、
検討材料として参考にしてもらえればと思います。

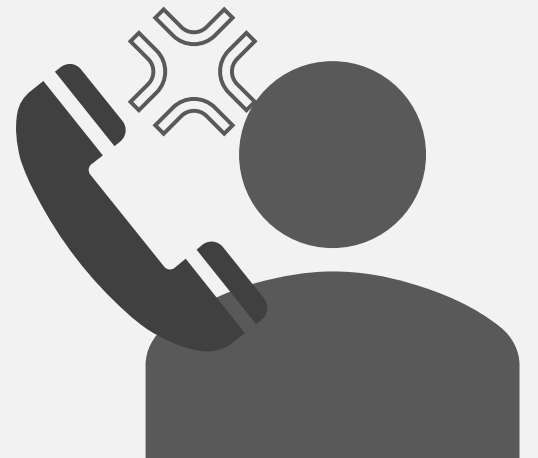
取り組むべき課題はたくさんあると思いますので…

お客様からこんなお叱りの電話をうけました

途中で**エラー**が発生したが

何をどう直したらいいのかわからないと

その時は電話での見積もりに変更しました



あとにごくまれにだと思っておりますが
簡易見積もりがなぜか異常に安く見積もられていて
正式見積もりとの差額が激しすぎるとの
ご意見をいただくことがあります



これはお客様からではないのですが
登録されたデータを見ていると

住所に都道府県以外の情報が入っていたり

同じデータが2回登録されていることがあります



簡易見積時に引っ越し日を入力できないので、
正式見積時にお客様に逐一確認しなければなりません。

引っ越しの金額は季節に左右されるため
簡易見積時に**引っ越し日を入力**していただき
簡易見積の精度を上げたいと思っています。

料金

距離_[km] * 100_[円/km] + トラック輸送費_[円] + オプション代金

料金

距離[km]*100[円/km] + トラック輸送費[円] + オプション代金

荷物の数によってトラックの種類が変わり、
トラックの種類によって輸送費が異なる

トラックの種類	トラック輸送費	積載可能な段ボール数
2トントラック	3万円	80個
4トントラック	5万円	200個

運ぶ荷物は段ボール換算する

例：ベッド⇒段ボール20個

段ボール5個とベッド5台ならば、総段ボール数105個
⇒4トントラック使用

引っ越し日を考慮した料金

$(\text{距離}_{[\text{km}]} * 100_{[\text{円/km}]} + \text{トラック輸送費}_{[\text{円}]}) * \underline{N}$
+ オプション代金

引っ越し日を考慮した料金

(距離_[km]*100_[円/km] + トラック輸送費_[円]) * N
+ オプション代金

Nは季節係数

3月～4月	: 1.5
9月	: 1.2
その他	: 1

最後に

よりよいサービスとすべく、
皆さんの視点で
改善提案をお願いいたします

ワークの進め方

ワークの進め方

- ① アプリケーションの確認
- ② アプリケーションのあるべき姿の決定
- ③ 現状とのギャップ・課題の洗出
- ④ 対応事項および優先順位、スケジュールの検討
- ⑤ 実践
 - アプリケーションの修正および動作確認
 - プレゼン資料の作成
- ⑥ 納品

成果物



プレゼン資料

お客様にとって使いやすいアプリケーションについて
改善内容をまとめた資料を用意してください



デモ用アプリケーション

チームで1つのシステムを改修してください
成果物は代表者のGitHubリポジトリに
統合（マージ）してください

ポイントとなる考え方

今回のインターンシップでは、
現場で採用されている技術やプロセスを多く詰め込んでいます。
そのうち、進め方に関するプロセスを3つご紹介します。

① バックキャストイング

② チケット駆動開発

③ イテレーション開発

バックカスティングとは | 1/3

「未来のあるべき姿」を描き、「未来を起点」に何をすべきかを考えること。



出典：「バックカスティング」とは
視覚会議 (<https://shikaku-kaigi.jp/pickup/backcasting/>)
2022/10/5 15:30 閲覧

バックキャストिंगとは | 2/3

バックキャストिंगの取り組み例としては「SDGs」が有名です。



バックキャストिंगとは | 3/3

あるべき姿

2030年までに、だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしよう。

達成目標

2030年までに、だれもが安全な水を、安い値段で利用できるようにする。

達成目標

2020年までに、山や森林、湿地、川、地下水を含んでいる地層、湖などの水に関わる生態系を守り、回復させる。

・
・
・

手段

現地に合った技術を用いた給水設備やトイレの設置

手段

教育や保健所を通した衛生習慣の普及

・
・
・

バックキャストを取り入れない場合

現状の課題や実績をもとに、対応手段を考えることになります（フォーキャストイング）。
経験の範囲内で考える為、未経験で不確実な未来の計画には不向きです。
また、手段が偏ったり、柔軟な発想をしにくいケースもあります。

課題

世界の4人に一人が、きれいな水を使えない

手段

現地に合った技術を用いた給水設備を設置する

手段

ゴミを拾う



チケット駆動開発を取り入れた進め方 | 1/3

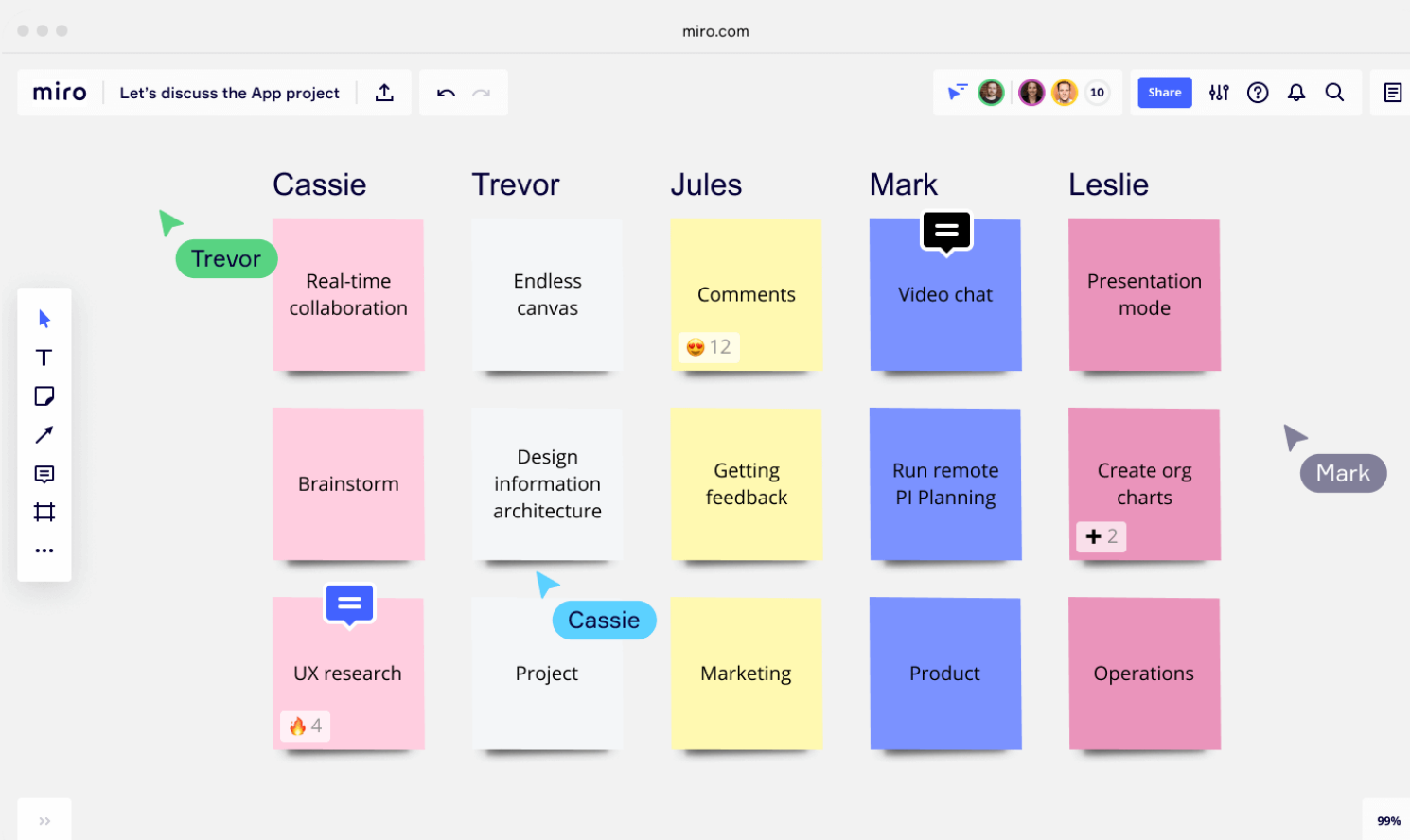
あるべき姿を設定したら、改善作業に取り組む前に具体的な作業に落とし込んでスケジュールを立てていきます。2つのツールを使って、開発を進めていきましょう。

① Miro : アイデア出し

② GitHub : タスク管理

チケット駆動開発を取り入れた進め方 | 2/3

Miroを使って、あるべき姿や考えの整理します。
どのような方法でまとめるかは任せします。



出典：「ブレインストーミングツールで場所を問わないチームでのアイデア出しを実現」
Miro (<https://miro.com/ja/online-brainstorm-tool/>)
2022/10/5 17:00 閲覧

チケット駆動開発を取り入れた進め方 | 3/3

2日間のタスクを**すべて「チケット」**化し、管理をします（プログラミング・資料作成など含む）

× チケットなしでの作業

タスク1つ1つを
「チケット」と言います

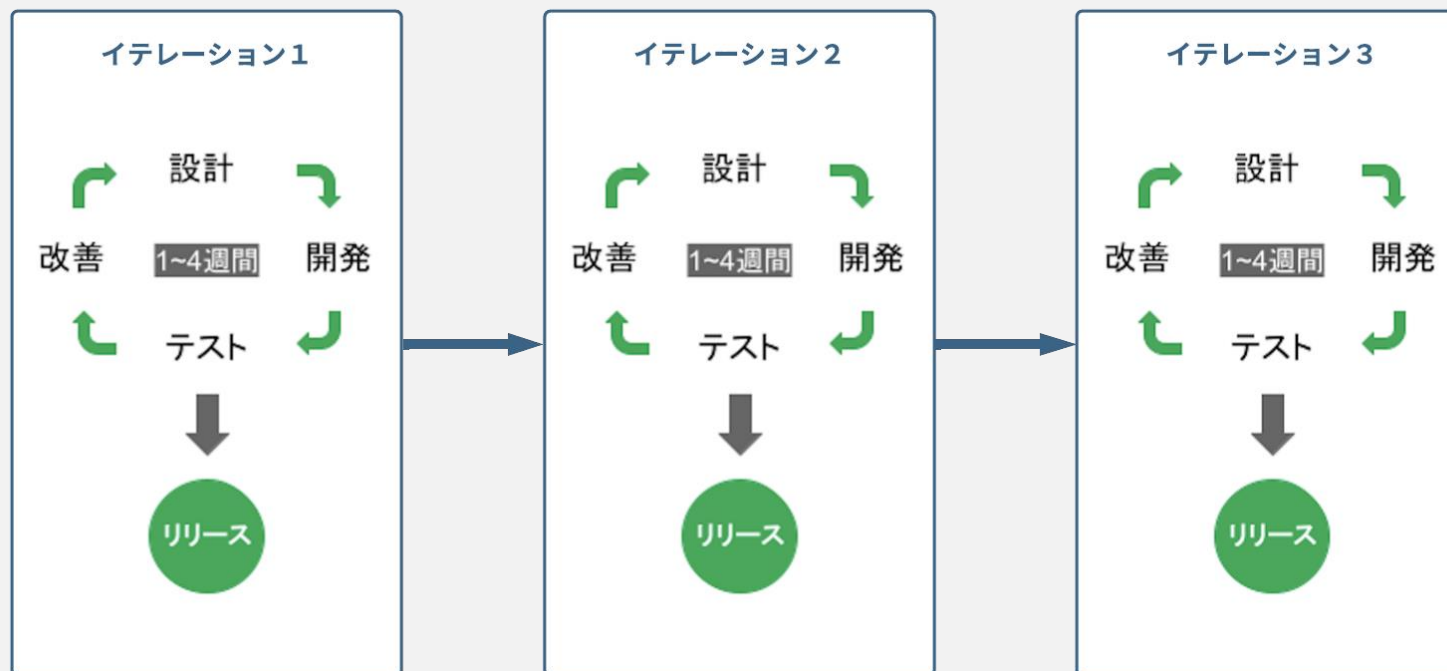
The screenshot shows a Kanban board interface for a project named '課題管理-tiscon8'. The board is divided into three columns: 'Todo' (2 items), 'In Progress' (1 item), and 'Done' (1 item). Each task card includes a title, a description, and a user icon.

Todo (2)	In Progress (1)	Done (1)
tiscon8-pre #3 概算お見積り結果画面からトップページに戻れるようにする	tiscon8-pre #1 トップページのタイトル「△△」を「〇〇」に変更する	tiscon8-pre #2 〇〇を△△する
tiscon8-pre #4 □□画面で〇〇できるようにする		

取り組み状況がわかるようにステータス管理をします。

イテレーション開発とは

一連の工程を**短期間で開発を繰り返す**、開発サイクルのことです
小さいサイクルを繰り返すことで、問題の発見や改善が容易になります



ポイントとなる考え方

- ① バックキャストイング
- ② チケット駆動開発
- ③ イテレーション開発

具体的な進め方

ワークの進め方

- ① アプリケーションの確認
- ② アプリケーションのあるべき姿の決定
- ③ 現状とのギャップ・課題の洗出
- ④ 対応事項および優先順位、スケジュールの検討
- ⑤ 実践
 - アプリケーションの修正および動作確認
 - プレゼン資料の作成
- ⑥ 納品

ワークの進め方

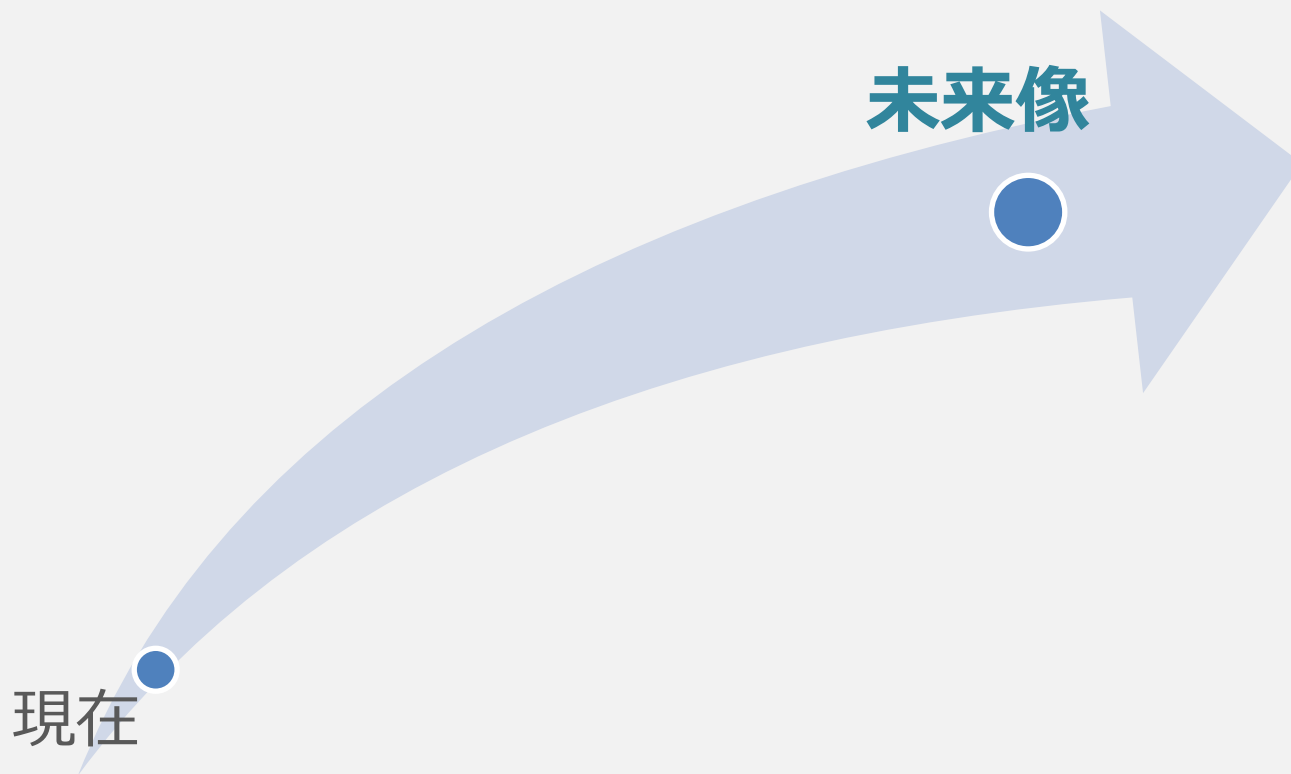
- ① アプリケーションの確認
- ② アプリケーションのあるべき姿の決定
- ③ 現状とのギャップ・課題の洗出
- ④ 対応事項および優先順位、スケジュールの検討
- ⑤ 実践
 - アプリケーションの修正および動作確認
 - プレゼン資料の作成
- ⑥ 納品

ワークの進め方

- ① アプリケーションの確認
- ② アプリケーションのあるべき姿の決定
- ③ 現状とのギャップ・課題の洗出
- ④ 対応事項および優先順位、スケジュールの検討
- ⑤ 実践
 - アプリケーションの修正および動作確認
 - プレゼン資料の作成
- ⑥ 納品

ワークの進め方

「未来像を表す一文（キャッチコピー）」を設定しましょう。
現実的に可能かどうか？ではなく、「どうあるべきか」が重要です。



【チェックポイント】

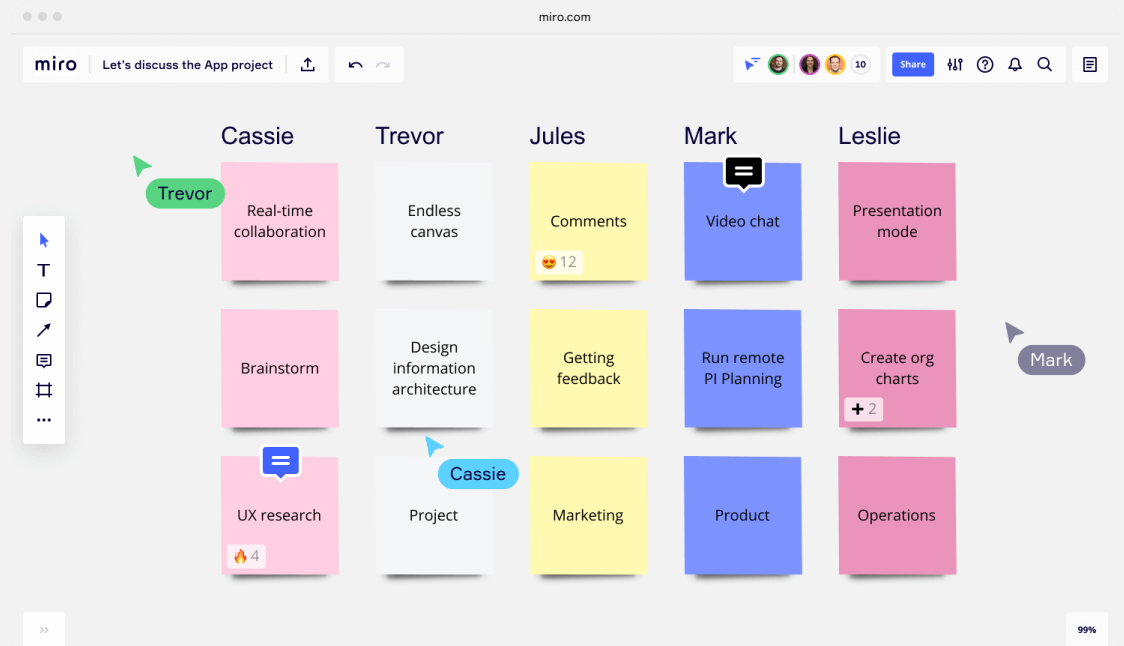
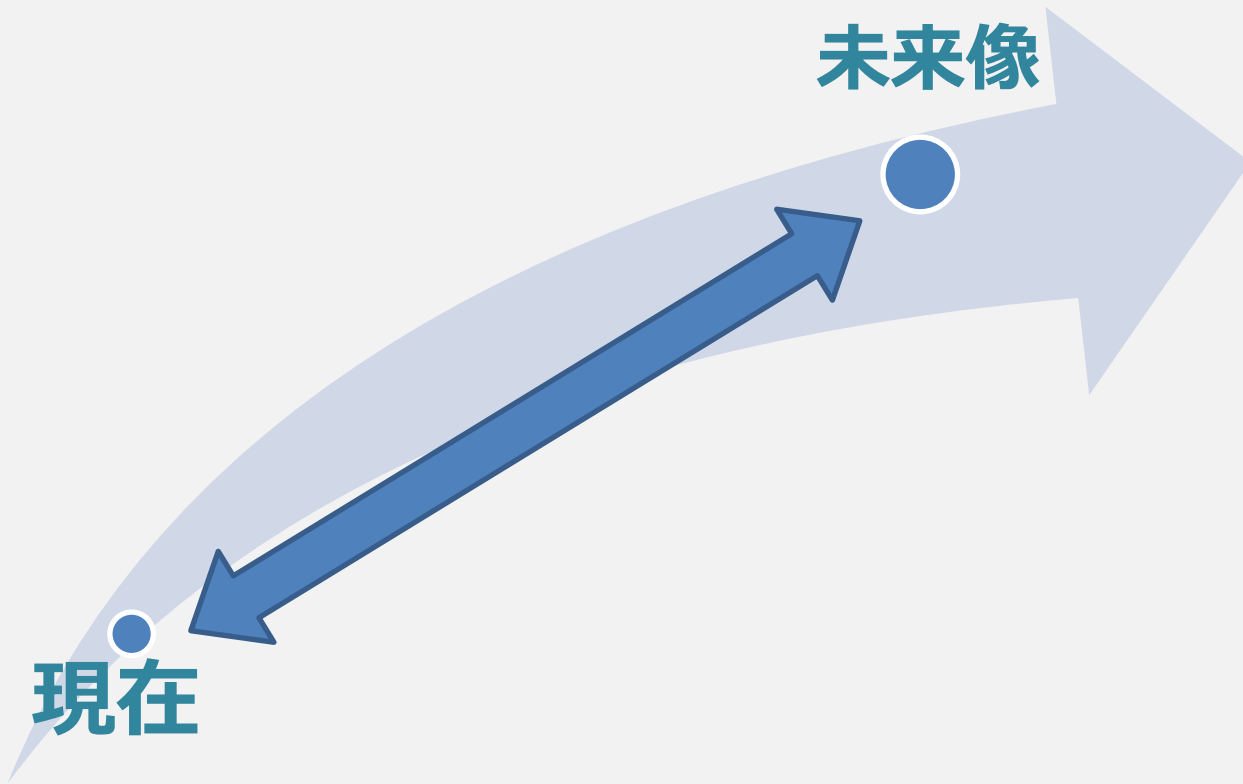
- ✓ メンバ全員が共感できるか
（良いな、と思えるか）
- ✓ 次のステップ「課題・ギャップの洗出」
で役立ちそうか

ワークの進め方

- ① アプリケーションの確認
- ② アプリケーションのあるべき姿の決定
- ③ 現状とのギャップ・課題の洗出
- ④ 対応事項および優先順位、スケジュールの検討
- ⑤ 実践
 - アプリケーションの修正および動作確認
 - プレゼン資料の作成
- ⑥ 納品

ワークの進め方

未来像に対し、現状とのギャップ・課題を洗い出します。
具体的な対処方法は一旦考えず、洗い出しに集中します。



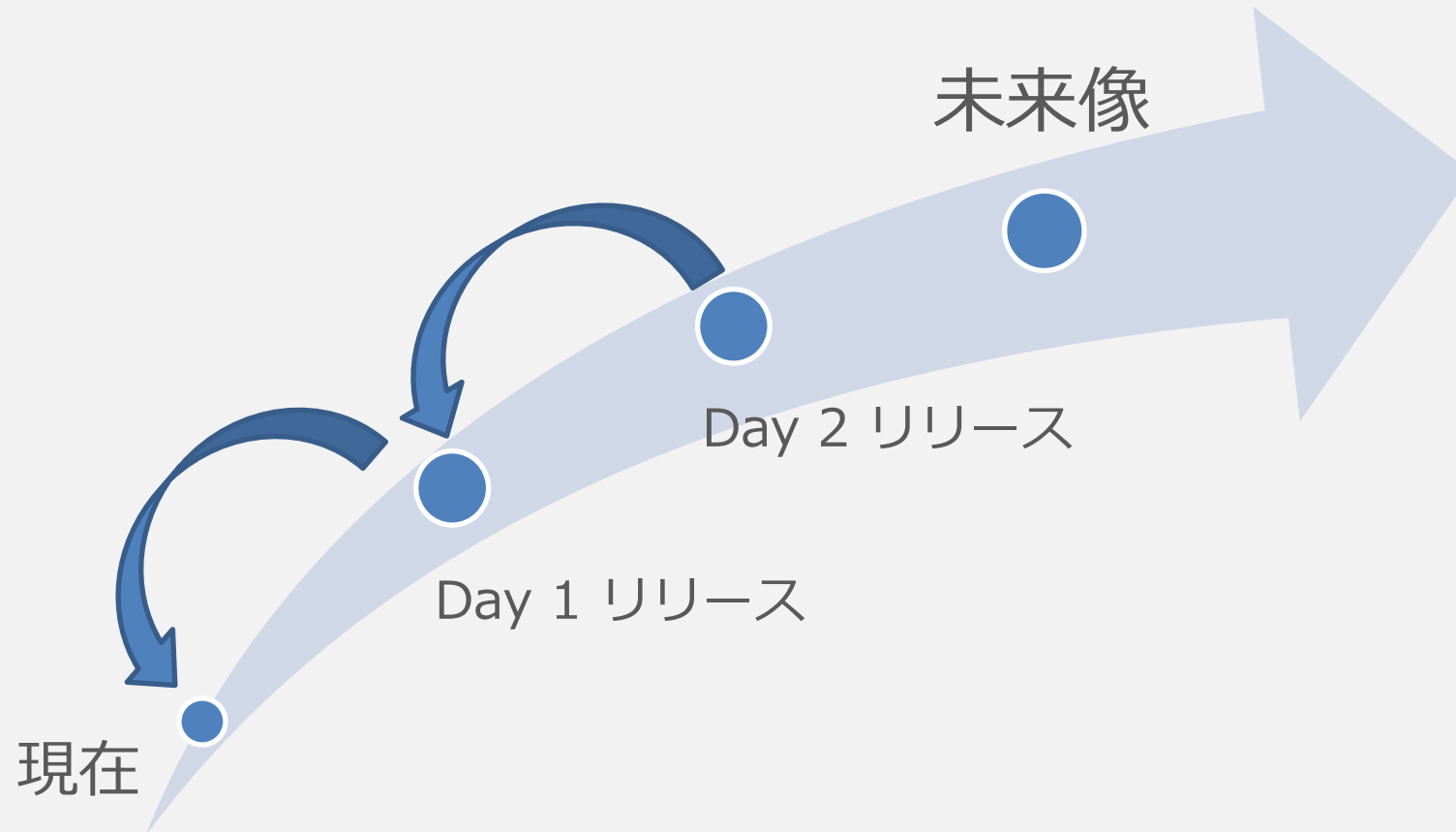
出典：「ブレインストーミングツールで場所を問わないチームでのアイデア出しを実現」
Miro (<https://miro.com/ja/online-brainstorm-tool/>)
2022/10/5 17:00 閲覧

ワークの進め方

- ① アプリケーションの確認
- ② アプリケーションのあるべき姿の決定
- ③ 現状とのギャップ・課題の洗出
- ④ 対応事項および優先順位、スケジュールの検討
- ⑤ 実践
 - アプリケーションの修正および動作確認
 - プレゼン資料の作成
- ⑥ 納品

ワークの進め方

- ・ 対応事項（どう対応するのか）
- ・ 優先順位（どの不具合、改善案に対応するか）
- ・ スケジュール（いつまでに対応するのか）



ワークの進め方

GitHubの「Issue」という機能を使って、
不具合や新規機能、ドキュメントに関するタスクを**チケット（タスク）**にします

- ・ 事象
- ・ 原因
- ・ 対応案（仕様）

等を整理します。

概算お見積り結果画面からトップページに戻れるようにする #3

Open takkii1010 opened this issue 8 days ago · 0 comments



takkii1010 commented 8 days ago · edited by takkii-1010

Member

概要

概算お見積り結果画面からトップページに遷移できるように「TOPへ戻る」ボタンを作る

目的

現在のアプリケーションでは、ユーザが見積もりを実施し概算お見積り結果画面に遷移した場合、TOPページに戻ることができない。
ブラウザバックや直接入力することで遷移可能だが、ユーザビリティが低い。
ユーザを補助する機能を作成することでユーザビリティを向上させる。

仕様

概算お見積り結果画面下部に「TOPへ戻る」ボタンを作成し、トップページへのリンクを貼る。

その他検討案 ※任意

どのタスクを
対応すべきか優先順位を決め、
スケジュールを立てます

Assignees

sambatrisme

Labels

None yet

Projects

課題管理-tiscon8

Status: Todo

Milestone

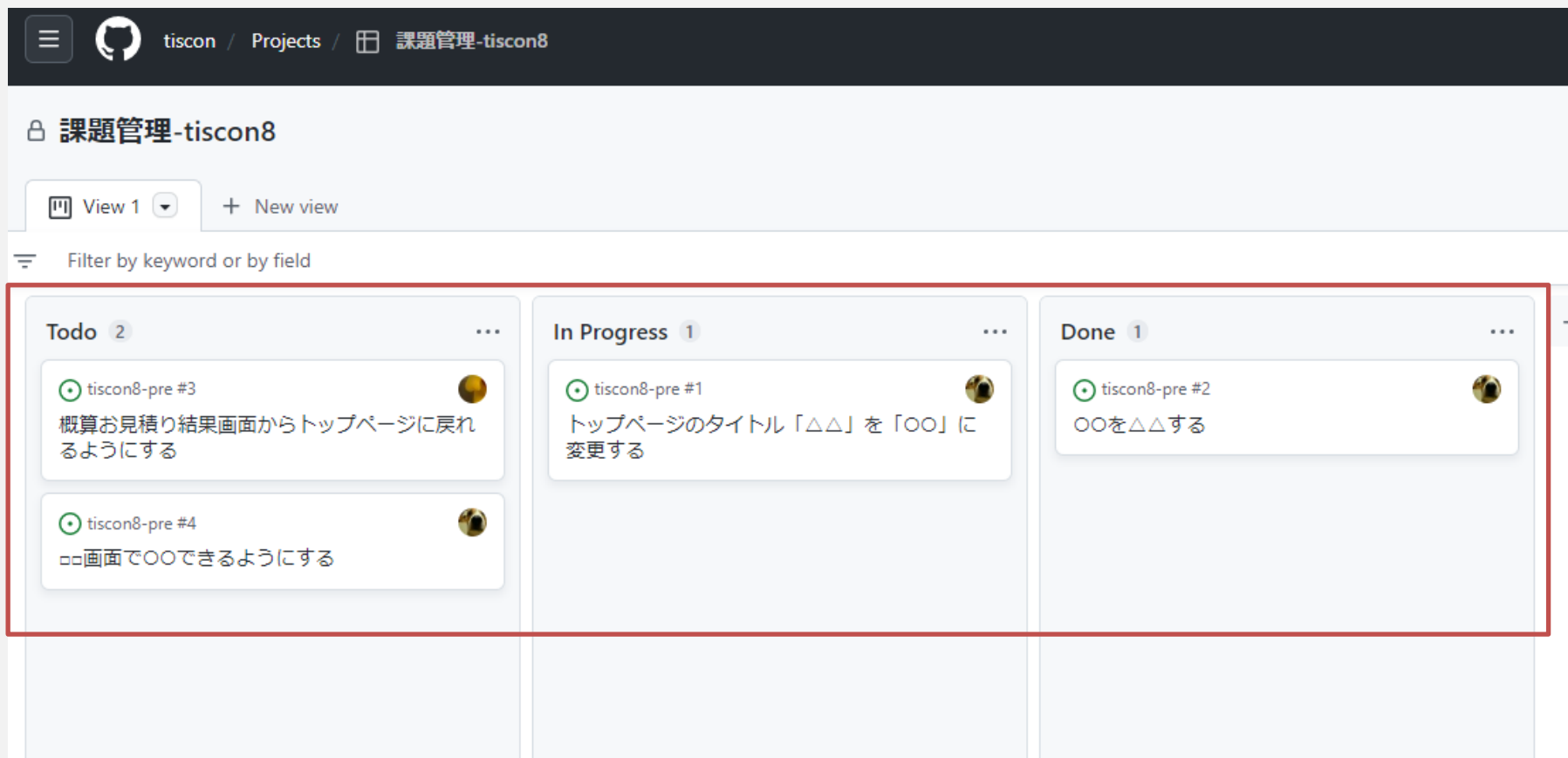
Day 1

Development

Create a branch for this issue or link a pull request.

ワークの進め方

GitHubのProjectsに「チケット」を作り、タスク管理をしていきます。



ワークの進め方

- ① アプリケーションの確認
- ② アプリケーションのあるべき姿の決定
- ③ 現状とのギャップ・課題の洗出
- ④ 対応事項および優先順位、スケジュールの検討
- ⑤ 実践
 - アプリケーションの修正および動作確認
 - プレゼン資料の作成
- ⑥ 納品

イテレーション（反復） します

スケジュール | 1日目

時間		内容
9:30～11:00	90分	ガイダンス
11:00～11:30	30分	課題説明
11:30～12:00	30分	開発準備
12:00～13:00	60分	ランチ
13:00～17:00	240分	課題実施
17:00～17:25	25分	チーム内成果発表・中間報告
17:25～17:30	5分	クロージング

チーム内でスタッフあてに成果発表してください。
きちんと動作確認をしたうえで「動くアプリケーション」を納品してください。

スケジュール | 1日目

時間		内容
9:30～15:20	230分	課題実施
15:20～15:30	10分	休憩
15:30～16:50	80分	成果発表
16:50～17:05	10分	組織長の話
17:05～17:40	35分	クロージング 個別フィードバック
17:40～17:50	10分	休憩 & おやつ準備
17:50～20:00	130分	社員によるLT、懇親会

全体に向けて成果発表してください。

きちんと動作確認をしたうえで「動くアプリケーション」を納品してください。

チーム内成果発表概要



開始時間

本日 17:00 (納期 17:00)



持ち時間

発表	<u>5分</u>
スタッフFB	5分
進捗状況の報告	5分
スケジュール再検討等	10分



発表内容

- ① Webサービスのあるべき姿、創造する価値
- ② 改善、工夫のポイントと理由
- ③ 改善箇所のデモ

チームメンバー全員発言する発表にしてください

全体成果発表概要



開始時間

明日 15:30 (納期 15:20)



持ち時間

発表 5分

質疑応答 4分

スタッフFB 1分



発表内容

- ① Webサービスのあるべき姿、創造する価値
- ② 改善、工夫のポイントと理由
- ③ 改善箇所のデモ

チームメンバー全員発言する発表にしてください

盛り上がる発表を！

（お客様への提案という設定ですが）せっかくの機会なので
今回はお客様への提案内容をまとめた**内輪に向けた発表**
ということで

「楽しく」 「盛り上がる」

ような発表をお願いします！

